

科技日语翻译技巧

下 册

遇崇基 编

北京机械工程师学会印

1 9 8 0 年

第三篇 惯用型和词组

第一章 惯用句型

第二章 修饰惯用型

第三章 补助惯用型

第四章 呼应惯用型

第五章 惯用词组

附录：惯用型和词组索引

惯用型和词组多数是以助词、助动词以及一些意义比较灵活的词汇（例如形式体言、形式用言等）为骨架构成的。有的可以按字面译出，但多数不能按字面翻译。即使勉强翻译出来，意义也不十分确切。例如“として”这一个词组（或称惯用型），本来是用补格助词“と”、动词“する”的连用形“し”和用言接续助词“て”为骨架构成的；但动词“する”已经失去了“搞、干、搞”等意义，实际上这一词组只能作为一个另具意义的单词看待，一般可译为“作为……”、“以……资格”、“假如……”等。又如“骨が折る”这一词组，原意是“费劲”、“困难”等，如按字面翻译就与原意相差甚远。

惯用型大致可分为五类：惯用句型、修饰惯用型、补助惯用型、呼应惯用型和惯用词组。现将科技日语里经常出现的惯用型或词组，分别举例叙述于后。

第一章 慣用句型

いわば...である

直译：如果说起来的话是...，可译为“可以说是”。

例：

- (1) 石炭はいわば太陽のエネルギーを地下に保存したものである。

煤可以说是把太阳的能量保存在地下的东西。

- (2) いわばこれはもっとも適したものである。

可以说，这是最合适的。

(推量)う(よう)が...である

接在未然形下面，可译为“无论...”。例：

- (1) なにをやろうか、数学の知識が必要である。

无论干甚么，都需要数学知识。

(推量)う(よう)が...まいか

接在未然形下面，可译为“无论...也好，不...也好，总之...”。例：

- (1) 雨が降ろうか降るまいか是非出発しなければならぬ。

无论下雨也好，不下雨也好，总得动身。

- (2) 行こうか行くまいかあの人の事だから，何も君が心配することはない。不~~管~~去也好，不~~去~~也好，那是他的事，你何必担心？

(推量)う(よう)と(も)しない

接在未然形下面，可译为“根本不想...”，“並未打算...”。例：

- (1) その当時、自然科学を勉強しようとしなかった。
在当时并未打算学习自然科学。

- (2) もう疲れきっているのに、だれも休もうとしな
い已经累极了，可是谁都根本不想休息。

(推量)う(よう)と...、しまいと

接在未然形下面，可译为“无论...也好，不...也好。

例：

- (1) 賛成しようとしまいと君の勝手だ。
无论赞成也好，不赞成也好，那是你的自由。

かどうか(かないか)

接在终止形后面，可译为“是...，还是...”，“是否...”。

例：

- (1) あわの動きから、台や地面が水平であるかどうかを
調べることができる。从气泡的移动可以知道台座
和地面是否保持水平。

- (2) まずテストに異常があるかないかを確かめなければ
ならない。

必须首先弄清仪表是否正常。

が(は)も...なる

接在体言下面，可译为“成为...”，“变为...”，有
时要灵活翻译。例：

- (1) 液体が気体になる

液体变成气体。

(2) エチルアルコールは零下九十度で結晶状となり、
それ以下の温度ではガラス状になる。

乙醇于零下 190° 时成结晶状态，如果温度在 190° 以下时就成为玻璃状。

(3) たいていの子供は三つ、四つなると、ふつうの生活
に必要な母国語を覚えてしまう。

一般的小孩，一到三、四岁时，就把普通生活上所必需的本国語都学会了。

から { なりたつ
 { できる

接在体言下否，可译为“由… 构成”、“由… 组成”。

例：

(1) 原子は原子核と軌道電子からなりたつ。

原子由原子核和轨道电子组成。

(2) 水は水素と酸素からできる。

水由氢和氧构成。

くらい… 方がよい

接在动词连体形后否，可译为“与其… 不如”。例：

(1) この問題は急ぎますから、手紙で尋ねるくらいなら
直接会って尋ねた方がよいでしょう。

因为这个问题很急，与其写信去问，还不如直接问一
下。

(2) 古い型のものを模造するくらいなら新しく設計する
方がよい

与其仿造旧式的不如重新设计。

くらいなら...方がました

接在动词连体形下面，可译为“与其...，不如”。例：

- (1) 降参する位なら死んだ方がました。

与其投降，不如死了倒好。

ぐらい...でも

接在动词连体形下面，表示对某种事物的蔑视，可译为“那么点...”。例：

- (1) そのぐらい事なら誰でも出来る。

那么一点小事，谁都能做。

...ことは...ことだしである)

接在连体形下面，可译为“...（就）是...”。例：

- (1) 日本語を学ぶには文法を覚えることは非常に重要なことだ。

要学日语，记住文法是很重要的。

さえ...は

接在体言或连体形下面，可译为“只要...就”。例：

- (1) いっぱんに、水は連らくさえしていれば、容器の形にかかわらず、水面がつねに同じ高さになってとまる性質がある。

一般说，水有一种性质，只要使之连通，就不受容器的形状如何，水面总是以同一高度静止下来。

- (2) 人間は足さえ暖かければかなり低い室内温度に耐え

り永まですが、逆に足元が寒いと室内温度が高くて
寒く感じます。

人类只要脚下暖和，就能耐受相当低的地温，反之，
如果脚底下很凉，室内温度再高，也感到冷。

たり…たり(する)

接在连用形后面，表示并列若干事项或交替进行，可译为
“又…又”、“或…或”等。例：

(1) 酸を加えたり，アルカリを加えたり，いろいろ試験
してみた。

或者加酸或者加碱，进行了种种试验。

(2) 天気が寒がったり，暑がったりして，とても変り易
い。

天气忽冷忽热，容易变化。

つつある

接在连用下面，可译为“正在…”。例：

(1) 雨が降りつつある。

正在下雨。

(2) 目下検討しつつある

目前正在讨论研究。

でなしに…である

接在体言下面，可译为“不是…而是…”。例：

(1) 輸送用オイルタンクの形状は角型でなしに断面がた

丹形である。

运输用油罐的形状不是方形而是截面为椭圆形的。

ではないかと思う

接在体言下面，可译为“大概（是）...”、“或许（是）...”。

例：
(1) 新製品の试作は今月中に終るのではないかと思う。

新产品的试制工作大概在本月内即可完成。

でもあれば...でもある

接在体言下面，可译为“既是...又是...”。例：

(1) 石油は石油化学工業の原料でもあれば重要な燃料でもある。

石油既是石油化学工业的原料又是重要的燃料。

というのは（ものは）

接在体言或终止形下面，可译为“（所谓）这种东西”。

例：

(1) 学習の問題では、なまけたり、見え張ったりしてはならず、また近道などというものはどこにもないのである。

在学习问题，偷不得懒，装不得假，也没有甚么捷径可走（直译：所谓捷径这种东西是没有的）。

というのは…からである

“というのは”放在句首，相当于一个接续词，与“からである”呼应，可译为“之所以这样说，是由于…的缘故”。例：

- (1) このグリース自動注入器を使うと，安全な注入ができ，とくに危険な場所や手のとどきにくいところでのグリース注入が安全になる。というのは，グリースのタンクが透明になっているので，離れた安全な場所から，タンクの中のグリースの量を目で見ることができるからである。

如果使用这个油脂自动注入器，就能够安全注入油脂，尤其是在危险的场所或者用手摸不到的地方注油更为安全。之所以这样说，是因为油箱透明，在远处安全的地方能看得见油箱里的油量的缘故。

…というのは…ことである

接在终止形下面，可译为“所谓…，就是…”。例：

- (1) 分析 というのは 事物の矛盾を分析することである。

所谓分析，就是分析事物的矛盾。

どの（体言）もどの（体言）も

把同一个体言或词组，重复两遍，表示加强语气，可译为“无论哪一个…”。例：

？
(1) この 巣箱 も、どの 巣箱 も 蜜 がいっぱい だ。

不受 哪一 巣箱 都是 満々 的 蜜。

とは… (こと) だ(てす、てある)

接在体言下否，可译为“所谓…就是”。例：

(1) 半 導 体 とは 電 流 の 流 水 や す さ が 導 体 と 絶 縁 体 の 中 間 に あ る も の の こ と で す。

所謂 半 導 体，是指 电 导 率 介 于 导 体 与 绝 缘 体 之 间 的 物 质。

(2) 音 速 とは 音 波 の 進 行 す る 速 度 で あ る。

所谓 音 速 就是 音 波 传 播 的 速 度。

とは… ものである(た”、です)

接在体言下否，可译为“所谓…就是”。例：

(1) 濃 硫 酸 とは 96 % の 硫 酸 を 含 み，比 重 が 約 1.84 の も の で あ る。

所谓 浓 硫 酸，就是 含 96 % 纯 硫 酸，比 重 为 约 1.84 的 酸。

なしには… ない

接在体言下否，可译为“如果没有…就没有…”。例：

(1) 電 気 を 利 用 す る こ と な し に は，今 日 の 世 界 も な い。

如果 没 有 电 的 利 用 就 没 有 今 天 的 世 界。

におよばない

接在体言或终止形后面，可译为“不如”，“赶不上”；“不必”，“用不着”。例：

- (1) この点では汽車は航空機に及ばない。

在这一点上火车不如飞机

- (2) 安全係数が大きく取ってあるのでロードは多少オーバーしても必配するに及ばない。

由于安全系数取得大，所以就受荷载超过了一些也用不着担心。

にきまっている

接在体言或终止形后面，可译为“一定是...”，“一定”。例：

- (1) 噪音がある場合、必ずどこかに故障があるに決っている。

有噪音时，一定是哪里出了毛病。

- (2) 成功するにきまっている。

一定成功。

にちがいない

接在体言后面，可译为“一定是”。例：

- (1) あの人に違いない

一定是他。

- (2) 大昔の人は、地球は平面をなしていると、考えていたに違いない。

太古时代的人们一定认为地球是形成一个平面的。

にとどまらない

接在体言下面，可译为“不假手”“不止于…”。例：

(1) 彼の悪いことはこのみに止らない。

他做的坏事不止于此。

(2) 帝国主義の間の矛盾は経済面にとどまらない。

帝国主义之间的矛盾不假手经济方面。

になる

接在体言下面，可译为“变成…，当作…，得到”等。

例：

(1) 花形商品も、いつかは衰退商品になる。

名牌商品总有一天也会变成衰退的商品。

(2) 動力伝達を目的とする歯車装置では潤滑方法や潤滑剤の選択は重要な問題になる。

以传达动力为目的齿轮装置，对润滑方法和润滑剂的选择，就成为重要的问题。

には

接在连体形下面，可译为“要…”、“为了”。例：

(1) だから、この水路をとぎす原因を解決するには，空気をパイプのなかに入水ないようにすることです。
因此，要解决这种水道堵塞的原因，就要设法不使空气进入水道内。

(2) スペクトルを調べるには分光器が必要である。

为了分析光谱，需要分光仪。

には(重复上词) ...が

接在连体形下面，可译为“是(倒是)，但...”例：

- (1) この腕時計は丈夫には丈夫ですが、見掛が余りよくありません。

这只手表结实是结实，可是样子不大好看。

のは...からである

接在连体形下面，可译为“之所以...是因为...”(的缘故)。例：

- (1) 電流が流れるのは電位の差があるからである。

电流之所以流动，是由于有电位差的缘故。

のは...(连体)にある

接在连体形后面，可译为“之所以...在于...”例：

- (1) こうした処理方を採用したのは安定性を向上させるにある。

(之所以)采用这种处理方法在于提高其稳定性。

のは(が)... (もの)だ”(である)

接在连体形下面，可译为“...的(就)是...”例：

- (1) このような物質相互間の变化は、その条件を研究するのが化学である。

研究这种物质相互之间的变化及其条件的便是化学。

- (2) 気体絶縁材料として最も多く利用されているのは空気である

(3) 月日のたつのは早いものだ

时间是过得快的。

は「... それだけ」

接在假定形下西，可译为“越…（相应地）…越”。

例：

(1) 燃料タンクが大きい水は、その水だけ燃焼は長く継続できる利点がある。

燃料箱越大，相应地就有燃烧越持久的优点。

は(同一用言連体形) { た^だけ
ほ^ど

接在假定形下凸，可译为“越…越”，例：

(1) 温度が高ければ高いほど、そのスペクトルの最も強い波は次第に短くなる。

湿度越高，则该光谱的最强波逐渐缩短。

(2) ほ水はほっただけ減るのだ.

越控就会越少。

は、たぬた (である)

接在体言后面，可译为“之所以……是因为”。例：

(1) 過去の調査により、粉末ミルクが飲まれない理由は、液体ミルクに比べ味が落ちるためである。

根据过去的调查，奶粉之所以不受欢迎，是因为它比牛奶的味道差。

…は(こそ)…にほかならない。

惯用句型，可译为“不外乎是”、“正是”。例：

(1) 光は(こそ)電磁波にほかならない。

光是(不外乎是)一种电磁波。

(体言)も(同一体言)だ“が”

可译为“虽说…但”例：

(1) 伝染も伝染だが油断も油断だ。

(虽说)传染是够厉害的，但要注意何至如此。

ものは…ものだ(です、である)

接在连体形下面，表示对“事物”的强调和肯定的意思。
可译为“所谓…(就是)”(翻译时可以灵活一些)。例：

(1) 超大国やっている核軍縮なるものはまったく核兵器
を独占して核威かくと核恐がっをおこなうためのもの
です。

超级大国搞的所谓核裁军，完全是为了垄断核
进行核威胁和核讹诈。

より(も)…方がよい

接在连体形下面，可译为“与其…不如…”。例：

(1) こんな器材は買うより(も)自分でつくって
い。

这样的器材，与其买，不如自己做。

- (2) この患者は藥物で治療するより手術する方がよい。
这位患者与其用药物治疗，不如动手术好。

わけは…のだ(です)

接在体言下面，可译为“之所以…是因为…”。例：

- (1) 今度の実験効果があまりあがらなかったわけはその方法が科学的でなかったのだ。
这一次实验效果之所以不显著是因为其方法不科学。

を与えることとなる

接在体言下面，可译为“给与”、“带来”。例：

- (1) しかし身体に暖風が当たると皮膚機能のバランスを乱し、暖かさより不快感を与えることとなる。
然而，暖风一触及身体就扰乱了皮肤功能的平衡而带来不快之感。

を…とする

接在体言下面，可译为“把…当作”、“把…规定为”、“把…假定为”等。例：

- (1) これをメートル単位系の質量単位とする。

把它规定为公制单位的质
量单位。

- (2) 鋼板の厚さを d とする。

设钢板的厚度为 d